

- 問1 沖縄県は九州の南方に位置し、日本の他の地方と比較して緯度が低いという特徴があります。このような地理的条件によってもたらされる「年間を通じて温暖な気候」や「美しいサンゴ礁」といった自然環境を最大限に活用し、県の経済において最も高い割合を占めている産業はどれですか。 (2026年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------|---------------------------|-------------------------|---------------------|
| 1. 重化学工業や加工貿易を主体とする第二次産業 | 2. 先端技術の開発や情報通信に特化した第四次産業 | 3. 観光業やサービス業を主体とする第三次産業 | 4. 農業や漁業を主体とする第一次産業 |
|--------------------------|---------------------------|-------------------------|---------------------|
- 問2 福岡県の北九州市に関して、かつて官営八幡製鉄所が建設され重化学工業が発展したが、現在ではその産業構造に変化が見られる。この地域の現在の特徴的な取り組みとして最も適切なものはどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------|---------------------------|----------------------------|-----------------------------|
| 1. 伝統的な繊維産業を中心とした地場産業の振興 | 2. 周辺のリアス海岸を生かした真珠や魚介類の養殖 | 3. 公害克服の技術や経験を生かしたエコタウンの形成 | 4. 広大な平野を利用した大規模な稲作と野菜の抑制栽培 |
|--------------------------|---------------------------|----------------------------|-----------------------------|
- 問3 温泉の源泉数が全国で最も多いことで知られる大分県の地域的特徴について、地形や産業の観点から述べた説明として最も適切なものはどれですか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 筑後川の下流に広がる平野部を利用して、米と小麦の二毛作が盛んに行われている。 | 2. 亜熱帯の気候を生かして、サトウキビやパイナップルなどの栽培が盛んに行われている。 | 3. 火山活動が活発な地域に位置しており、別府や由布院などの温泉地が観光の拠点となっている。 | 4. 広大な平野を有しており、機械化された大規模な農業によって小麦の生産が行われている。 |
|---|---|--|--|
- 問4 沖縄県の地域調査において、本土復帰から現代までの経済統計について考察した次の記述のうち、正しいものはどれですか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 1972年と2014年を比較すると、県民総所得に占める基地関連収入の割合は約4分の1以下に低下しており、基地に依存しない経済への転換が進んでいる。 | 2. 復帰直後の沖縄県では基地関連収入が県民総所得の5.7%を占めるに過ぎなかったが、現在は基地の役割が増大し、その割合は30.4%に達している。 | 3. 県民総所得の総額は、1972年の約5,000億円から2014年の約4兆3,000億円へと増加しているが、基地関連収入の割合は依然として30%を超えている。 | 4. 基地関連収入の割合が大幅に低下したのは、県民総所得の総額が1972年時点よりも減少したためであり、沖縄経済の規模は縮小を続けている。 |
|--|---|--|---|
- 問5 宮崎県などで盛んな、ビニールハウスなどの施設を用いて作物の成長を早める「促成栽培」において、冬から春にかけての時期に出荷を集中させる主な理由として最も適切なものはどれですか。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 春先の害虫被害を避けるために、収穫時期をあえて市場の需要が低い時期にずらすため | 2. 冬の寒さを利用して作物の品質を向上させ、他の農産物との差別化を図るため | 3. 他地域からの入荷量が少なく市場価格が高い時期に供給し、農家の利益を高めるため | 4. 他地域からの入荷量が多く市場価格が安定している時期に供給し、販売量を増やすため |
|--|--|---|--|
- 問6 九州の西側の海上から、長崎県付近を経て日本海側へと北上する海流があります。この海流の名称として正しいものはどれですか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|----------|-------------|---------|
| 1. 親潮（千島海流） | 2. リマン海流 | 3. 黒潮（日本海流） | 4. 対馬海流 |
|-------------|----------|-------------|---------|
- 問7 九州地方の南東部に位置し、ピーマンやキュウリなどの生産が盛んな宮崎県では、出荷時期を早める「促成栽培」が行われています。このような工夫を凝らした農業が行われる主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 大消費地である東京や大阪に近いので、輸送コストを抑えて新鮮なうちに届けるため | 2. 他の産地の出荷が少ない時期に市場へ供給することで、高い販売価格を得るため | 3. ダムや水路などのかんがい施設を効率的に利用し、一度に大量の野菜を収穫するため | 4. 夏の極端な高温や乾燥による被害を避けるため、収穫を春までに終わらせるため |
|---|---|---|---|
- 問8 九州地方の西側に位置する東シナ海には、大陸から続く平坦な海底が広がっています。このような、一般に水深が200mよりも浅い海底地形を何と呼びますか。 (2016年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 1. 大陸棚 | 2. 海溝 | 3. 海盆 | 4. 砂州 |
|--------|-------|-------|-------|
- 問9 九州地方において、集積回路（IC）などの電子部品を製造する工場が、従来の重化学工業のような沿岸部ではなく、内陸部の空港や高速道路の周辺に多く立地している主な理由を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2016年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 工場の排水による海洋汚染を防ぐため、法律によってすべての先端技術産業は海から離れた場所に建設するよう義務付けられているから。 | 2. 原材料に大量の鉄鉱石や石炭を使用するため、海外からの輸入に便利な内陸部のインターチェンジ周辺が選ばれたから。 | 3. 大規模な製造装置を動かすための電力を確保するために、火力発電所や原子力発電所が集中する空港付近の立地が必要だから。 | 4. 製品が小型で軽量かつ高付加価値であるため、運賃コストよりもスピードを重視した航空輸送やトラック輸送が適しているから。 |
|---|---|--|---|
- 問10 福岡県の工業出荷額に占める産業別割合を示した統計において、機械工業に次いで大きな割合を占め、北九州工業地域の沿岸部に工場が集中している産業の名称を答えなさい。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|----------|---------|
| 1. 食料品工業 | 2. 金属工業 | 3. せんい工業 | 4. 化学工業 |
|----------|---------|----------|---------|
- 問11 熊本県水俣市を中心に発生した水俣病について、その被害が拡大した原因や仕組みに関する記述として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 化学工場の排水に含まれたメチル水銀が魚介類の体内で濃縮され、それを摂取した住民に深刻な神経被害をもたらした。 | 2. 工場から排出された窒素酸化物が光化学スモッグを引き起こし、都市部の住民に目の痛みや頭痛をもたらした。 | 3. 鉱山から川へ流れ出したカドミウムが農作物を汚染し、それを長期間食べた住民の骨がもろくなる被害をもたらした。 | 4. 石油コンビナートの煙突から排出された硫黄酸化物が大気を汚染し、周辺住民に激しいせきやぜんそくの症状をもたらした。 |
|---|---|--|---|
- 問12 沖縄県における河川の状況と水資源に関する記述として、統計的な事実や地理的特徴に基づいた正しいものを選びなさい。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 大規模な平野部を流れる長大な河川が多く、古くから水田稲作が盛んに行われてきた。 | 2. 河川が非常に緩やかに流れているため、海への流出に時間がかかり蒸発による損失が激しい。 | 3. 降水量が極めて少ない地域であるため、河川の流量が年間を通じて一定ではない。 | 4. 全国平均と比べて河川の長さが極めて短く、雨水を安定して蓄えることが難しい地形である。 |
|--|---|--|---|